

5月29日（金） 知事会見

社会経済活動の再開に向けた

6月1日以降の対応

1 感染の状況

2 社会経済活動再開に向けたロードマップ、 6月1日以降の対応

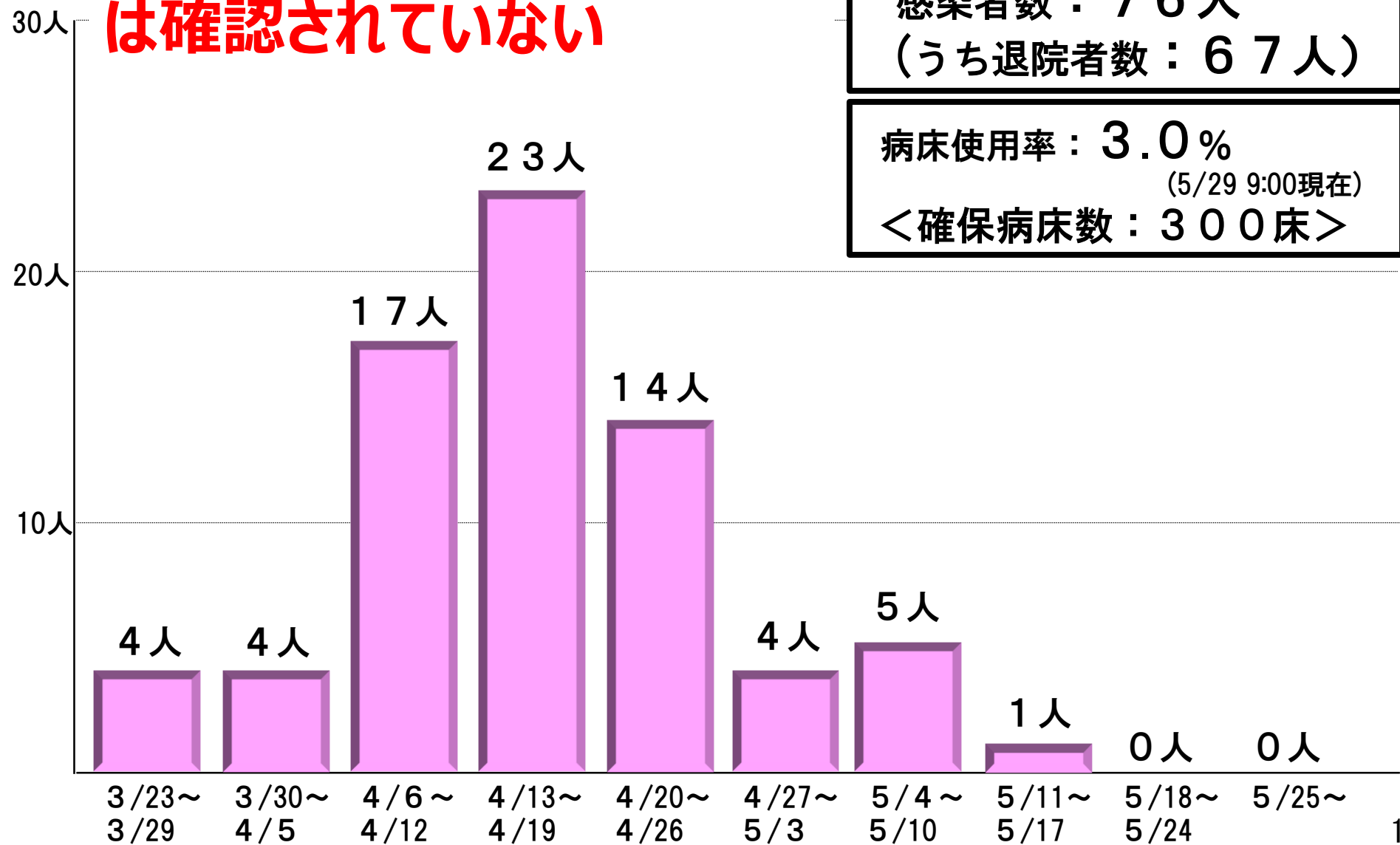
3 信州登山アクション

4 With コロナ時代を見据えた観光振興方針(仮称)

5 5月専決予算

県内の感染状況

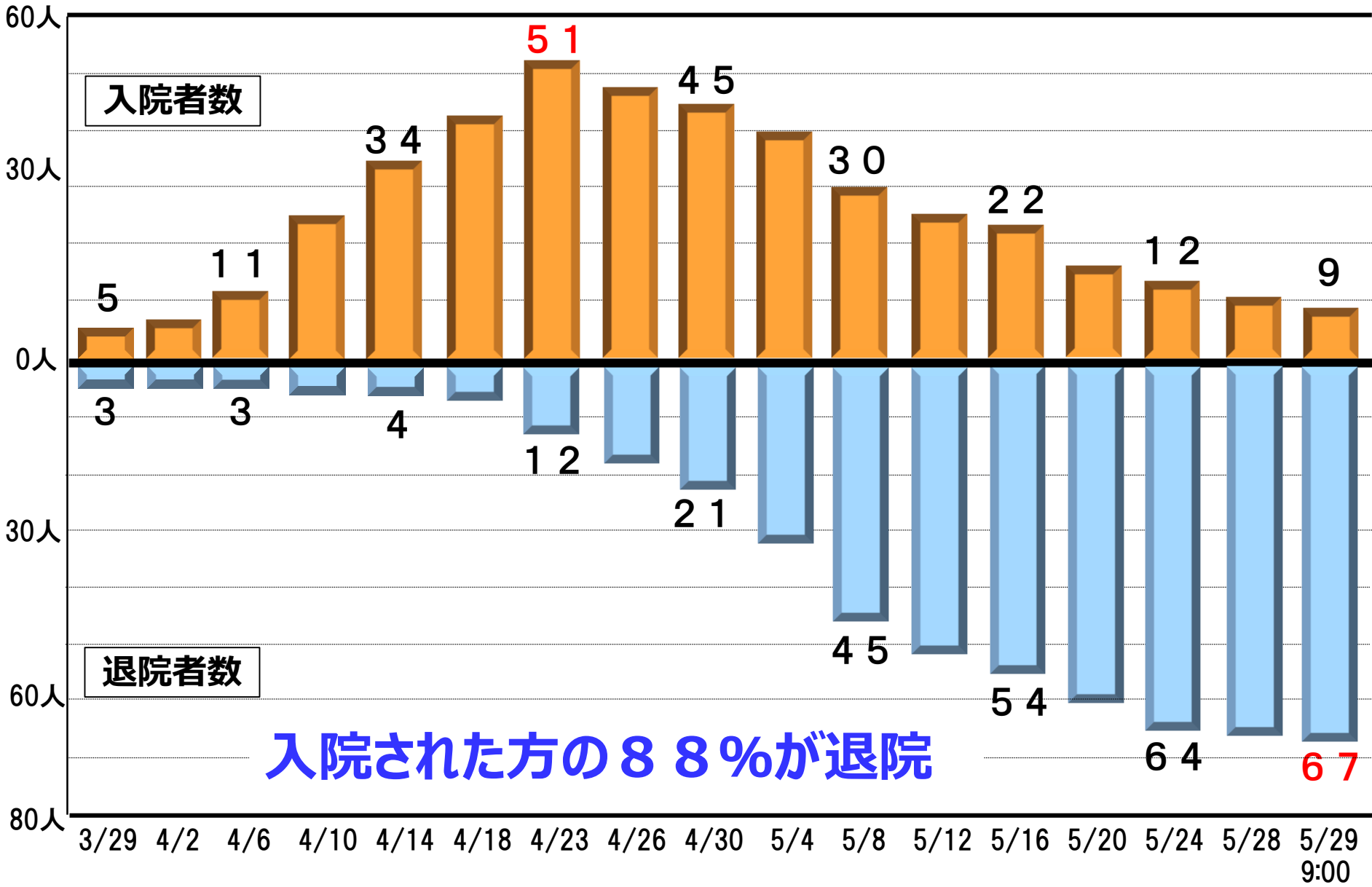
**5/13以降、新たな感染者
は確認されていない**



5月29日（金）9:00現在
感染者数：76人
（うち退院者数：67人）

病床使用率：3.0%
（5/29 9:00現在）
＜確保病床数：300床＞

入退院者数 (5月29日9時現在)



入院された方の 88% が退院

1 感染の状況

2 **社会経済活動再開に向けたロードマップ、
6月1日以降の対応**

3 信州登山アクション

4 With コロナ時代を見据えた**観光振興方針(仮称)**

5 5月専決予算

6月1日（月）以降の基本的考え方

- ① 「**新しい生活様式**」の定着を推進
- ② 医療・検査体制の整備など**第2波**への備えを進める
- ③ 県民の皆様の生活を支え、**経済の再生**を図る

社会経済活動再開に向けたロードマップ ①

	<活動準備・始動期>	<県内需要拡大・交流展開期>	<県外需要拡大期>	<新たな日常での活動定着期>
	~5/31	6/1~6/18	6/19~7/9	7/10~7/31
	事業活動を再開しつつ、お客様の受け入れに、県と事業者が連携して準備する期間	県として県内需要の拡大を支援し、近隣県等との交流の拡大を図る期間	県として経済活動の活性化を支援し、全国との交流拡大を図る期間	経済活動の定着により経済の再生を図る期間

共通

感染防止策の徹底（別添 信州版「新たな日常のすゝめ」を参照）

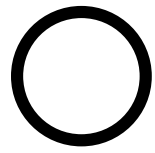
人の移動

STAY
信州

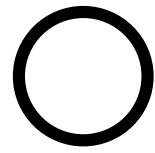
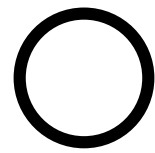
5都道県との往来
自粛要請



首都圏・北海道との移動は慎重に対応するよう呼びかけ



原則として往来は自由
（必要に応じて注意喚起）



新型コロナウイルス感染症は、せきやくしゃみ、2m以内でマスクをせずに会話を行うことで生じる飛沫が目・鼻・口に入ることにより、ウイルスを吸い込むことで感染します（飛沫感染）。また、ウイルスがついた手で目・鼻・口に触れることで感染します（接触感染）。感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう。

- 感染防止の3つの基本（身体的距離の確保、人込みの中でのマスク着用、手洗い）を徹底しましょう。
- 「3つの密」（密閉、密集、密接）を回避しましょう。
- 毎日の健康チェックを欠かさず行いましょう。風邪症状があるときは、外出を避け、症状が長引くときや息苦しさや高熱などの強い症状があるときは、かかりつけ医や保健所に相談しましょう。

信州版 「新たな日常のすゝめ」

事業者の皆様は、次の取組をお願いします。

- マスク着用や小まめな手洗いをスタッフに徹底させましょう。
- スタッフの体調管理、健康チェックを行いましょ。また、発熱の症状がある人が休みやすい環境を整えましょ。
- 「3つの密」（密閉、密集、密接）を作らない環境の整備に取り組みましょ。
- 施設内の定期的な換気や設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行いましょ。
- 在宅勤務や時差出勤、交代勤務などによる勤務時間の分散等を推進しましょ。
- お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけましょ。
- 「新型コロナウイルス対策推進宣言」を積極的に行うなど、お店の取組をお客様にお知らせしましょ。

社会経済活動再開に向けたロードマップ ②

<活動準備・始動期> <県内需要拡大・交流展開期> <県外需要拡大期> <新たな日常での活動定着期>

~5/31 6/1~6/18 6/19~7/9 7/10~7/31 8/1~

観光

(県の取組) 地域の支えあいによる観光の促進 (信州地域支えあいキャンペーン)

地域支えあい観光緊急事業 → 県民向け宿泊割引 (ふっこう割) → 県民向け宿泊割引・観光地クーポン券
 (感染状況を注視しながら実施)

県として近隣県等へPR 7月下旬の連休以降を目指して観光誘客のキャンペーン

GoToキャンペーン

(観光宿泊施設) ・観光宿泊施設に対する要請は行わない
 ・感染防止対策の徹底 (宣言の店)

(山小屋) ・感染防止対策の徹底
 ・登山者への啓発

地域内の需要喚起

(県の取組) 地域の支えあいによる消費の促進 (信州地域支えあいキャンペーン)

飲食・サービス業等応援・持続化支援 → 自立的展開の支援を継続

飲食・宿泊業クラウドファンディング活用応援
 信州ふるさと割による県外販路拡大

社会経済活動再開に向けたロードマップ ③

		<活動準備・始動期>	<県内需要拡大・交流展開期>	<県外需要拡大期>	<新たな日常での活動定着期>	
		～5/31	6/1～6/18	6/19～7/9	7/10～7/31	8/1～
イ ベ ン ト	(屋内施設)	収容率50%以内かつ 100人以内	収容率50%以内かつ 1000人以内	収容率50%以内かつ 5000人以内	収容率 50%以内	
	(屋外施設)	十分な間隔 かつ200人以内 (できれば2m)	十分な間隔 かつ1000人以内 (できれば2m)	十分な間隔 かつ5000人以内 (できれば2m)	十分な間隔 (できれば 2m)	
		・地域のお祭り、野外フェス等は感染防止策を徹底した上で開催可 ・全国的・広域的な人の移動を伴うイベントは中止を含めて慎重な対応を求める	・全国的・広域的な人の移動を伴うイベントは中止を含めて慎重な対応を求める (プロスポーツ等は無観客試合を要請)	・全国的・広域的な人の移動を伴うイベントは中止を含めて慎重な対応を求める	・人数上限無し ・感染状況を見つつ判断	
県立 学 校	5/23から再開 分散登校を実施	通常登校 ・ 感染リスクを可能な限り低減 ・ 子どもたちの学びを最大限保障				
県有 施 設	人を呼び込む 施設の休止	再開 ・ 施設を使用して行うイベントは上記基準の遵守を要請 (使用料の減免について検討)				

県有施設を原則 6月1日から開館・開場します

種 類	主 な 施 設
文化芸術	<ul style="list-style-type: none">・ 文化会館（長野、※¹松本、※²伊那※³）・ 信濃美術館
自然・観光	<ul style="list-style-type: none">・ 自然保護センター（4所）・ 戸隠森林学習館 ※¹
都市公園	<ul style="list-style-type: none">・ 南信州広域公園
教育・スポーツ	<ul style="list-style-type: none">・ 県立歴史館 ※¹ ・ 県立武道館 ※¹・ 白馬ジャンプ競技場・ 少年自然の家（望月、阿南）・ 県営総合射撃場 ※³

※¹：6/2から開館（6/1定休）

※²：工事のため休館

※³：6/3から開館・開場（6/1、6/2定休）

社会経済活動再開に向けたロードマップ ④

<活動準備・始動期> <県内需要拡大・交流展開期> <県外需要拡大期> <新たな日常での活動定着期>

~5/31 6/1~6/18 6/19~7/9 7/10~7/31 8/1~

(医療体制)

300人以上の患者受入体制の継続、200人以上の軽症者宿泊施設の受入体制の継続、重症者受入体制の充実の検討

(検査体制)

残りの4医療圏にセンターを設置（6月末までに）

10医療圏のセンター運営を継続

（5月末までに設置済：佐久、上小、上伊那、飯伊、松本、長野）

- ・ 外来・検査センターを6医療圏に設置
- ・ 可能検体数 266検体／日

可能検査数：300検体／日以上（6月末までに）

検査体制の継続

医療関係

社会経済活動再開に向けたロードマップ ⑤

<活動準備・始動期> <県内需要拡大・交流展開期> <県外需要拡大期> <新たな日常での活動定着期>

~5/31 6/1~6/18 6/19~7/9 7/10~7/31 8/1~

予 算

- ☆ 5月専決
(コロナ対策補正第3弾)
- ・ 「長野県民支えあい」による観光振興
 - ・ 事業者の「新しい生活様式」への移行支援(拡充)
 - ・ 経営を継続し雇用を守る事業者への支援
 - ・ 失業者等の就労支援

- ☆ 6月補正(コロナ対策補正第4弾)を県議会に提出
- ・ 国の第2次補正予算を最大限活用し、地域経済の活性化などを図るための予算を拡充

※ このロードマップは、本県及び全国の感染状況が落ち着いた状況であることを前提としています。

感染拡大が生じた場合は、自粛の要請等の措置を講じる場合があります。

1 感染の状況

2 社会経済活動再開に向けたロードマップ、 6月1日以降の対応

3 信州登山アクション

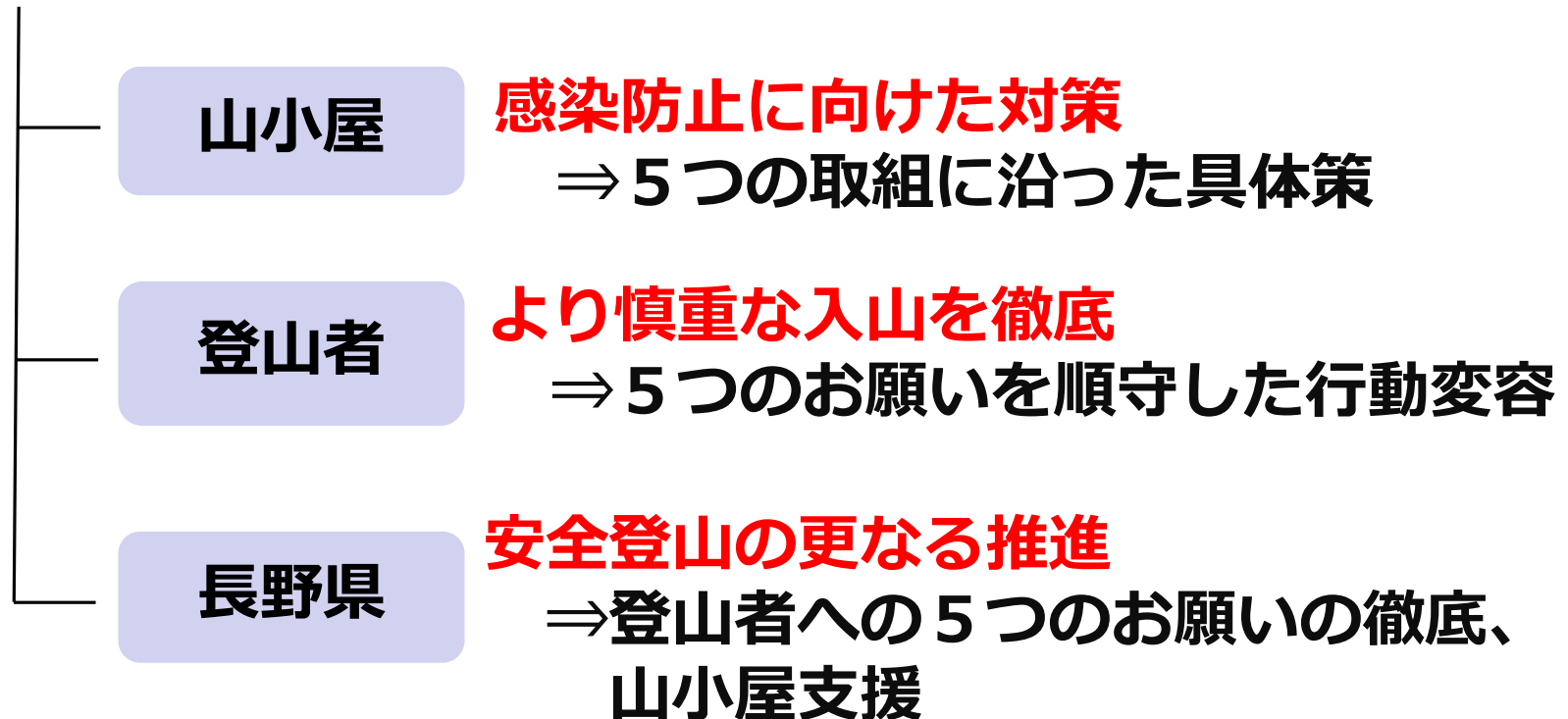
4 With コロナ時代を見据えた観光振興方針(仮称)

5 5月専決予算

【現在】 5月末まで登山自粛を依頼（山小屋の休業、登山口駐車場の閉鎖）

【今後】 一律の自粛から新型コロナウイルスに適応した安全登山のフェーズへ転換

「信州安全登山アクション」 6月～





山小屋と登山者のアクション

山小屋

感染防止に向けた5つの取組

- ① 事前予約を原則とする
- ② スタッフのマスク着用・手指消毒を徹底する
- ③ 施設内の消毒と換気を徹底する
- ④ 施設内での宿泊者同士の距離を確保する
- ⑤ 宿泊者の住所等、正確な情報を把握する

5つの取組を基本に各山小屋で工夫して取り組む

登山者

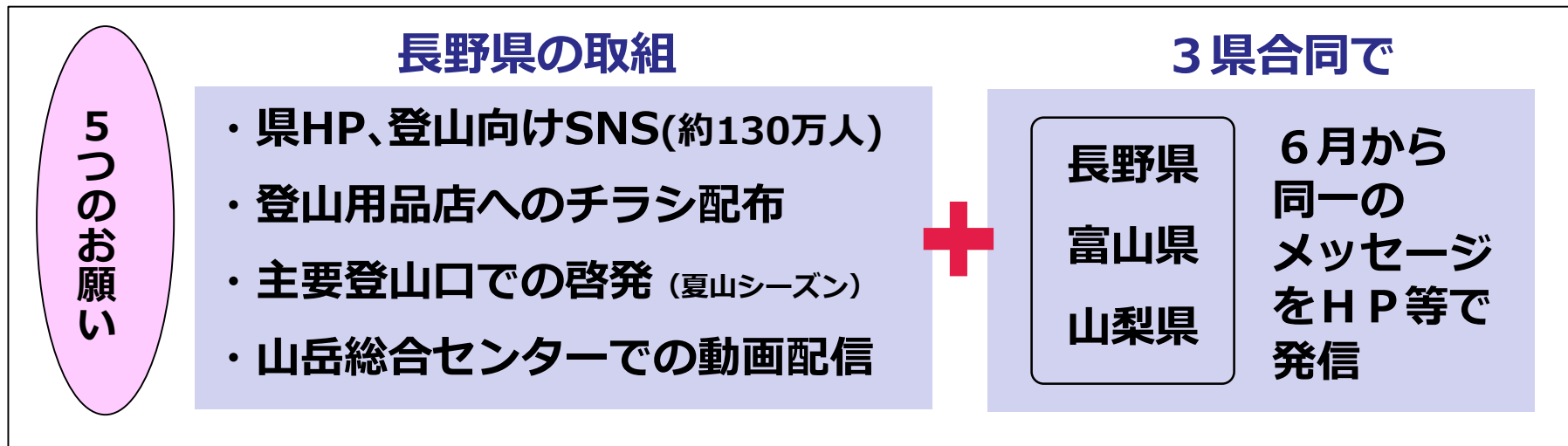
登山者が徹底する5つのお願い

- ① 体調に不安がある場合は絶対に入山しないこと
- ② 山小屋・テント場の営業確認、事前予約を徹底すること
- ③ 十分に難易度を落とした山選びをすること
- ④ 混雑を回避する登山計画により行動すること
できる限り混雑期を避け、少人数のパーティで入山
- ⑤ 感染予防グッズを携行し、ゴミは持ち帰ること
消毒液、体温計、マスク、シュラフ等

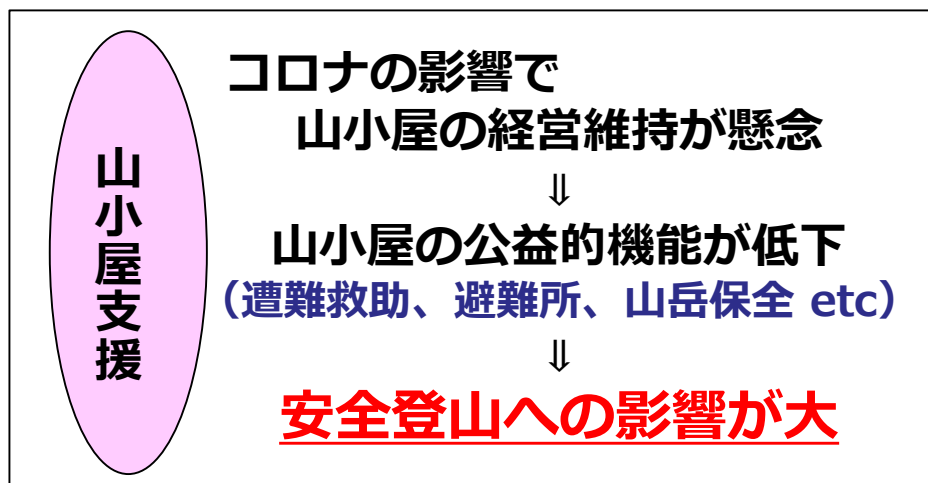
救助が困難な状況の中で、より慎重な行動が必要

長野県アクション：安全登山の更なる推進

◇登山者に対して「安全登山5つのお願いの徹底」を強く発信



◇安全登山推進のための山小屋支援



支援策については検討中

- 1 感染の状況
- 2 社会経済活動再開に向けたロードマップ、
6月1日以降の対応
- 3 信州登山アクション
- 4 With コロナ時代を見据えた**観光振興方針(仮称)**
- 5 5月専決予算

観光・宿泊業を取り巻く状況

社会変革（潮目の変化）

⇒「新しい生活様式」の定着

- 観光に対する消費者マインドの変化
- 旅行環境、受入環境の変化
- テレワークの普及、働き方の多様化

策定の目的（方針の位置づけ）

- 社会変革（潮目の変化）による観光ニーズの変化等に対応するための、観光関連産業の振興に向けた方向性

+

「長野県観光戦略2018」

地域と一体で取組

観光振興方針の視点（案）

★新たな価値観の創造

リゾートテレワーク、長期滞在、地域の魅力再発見

★新たな観光産業への進化

新たなビジネスモデル
内需喚起型による地域内経済循環

★量から質への観光の転換

高付加価値の創出、消費単価の増



スケジュール（予定）

6月 検討会を設置して検討を開始
＜検討会の構成員＞
宿泊・観光事業者、旅行業、DMO等

- 1 感染の状況
- 2 社会経済活動再開に向けたロードマップ、
6月1日以降の対応
- 3 信州登山アクション
- 4 With コロナ時代を見据えた観光振興方針(仮称)
- 5 5月専決予算

県民の皆様の支えあいにより長野県の観光を振興します

新 長野県民支えあい観光産業緊急支援事業

予算額
460,550千円

対象
施設



県民の皆様を対象とした宿泊割引、観光体験や土産物店などで
利用可能な**観光クーポン券を割引販売**します

実施期間：**6/18~7/31**（7/1からクーポン券販売）

事業者の皆様の「新しい生活様式」への移行を支援します

飲食・サービス業等新型コロナウイルス 対策応援事業

予算額
370,000千円
（4月補正を拡充）

事業の多角化や「**新たな生活様式**」への**対応**など、事業形態の転換に向けた取組を行う**事業者グループ**や**個別の事業者**の皆様を支援します

【補助上限額】

事業者グループ	300万円
個別の事業者	135万円

経営を続け雇用を守っていただく事業者の皆様を支援します

新「産業・雇用総合サポートセンター」事業

予算額
21,720千円

県地域振興局、労政事務所に**社会保険労務士**や**行政書士**を配置し、相談や支援策の紹介・申請を**トータルでサポート**します



相談

相応しい産業・雇用支援策の紹介

申請書の作成・提出

失業された皆様の就労を支援します

新 県・市町村・県民連携 緊急就労支援事業

予算額 30,000千円

事業内容	市町村、県民の皆様と連携し、長野県 社会福祉協議会 に「 長野県あんしん未来創造基金 」を造成し、就労事務所へ 賃金を助成
対象となる方	総合支援資金貸付制度（窓口：社会福祉協議会）を利用している方など「 まいさぽ 」の支援を受けている方

【就労する事業所への
助成金の上限額】
192,000円／2か月

300人程度の方の
就労をサポート

第2波に備えて医療資材のさらなる購入・備蓄を進めます

新型コロナウイルス感染症予防対策物資購入事業

予算額
150,000千円

医療機関等において必要な**アイソレーションガウン**や
フェイスシールドなどの購入・備蓄を進めます



5月専決予算額

一般会計

10億3,227万円